

## 式 辞

優しく柔らかな日差しとともに、校庭の桜のつぼみが膨らみ始め、春の息吹が感じられるこの良き日に、第五十回中部小学校卒業証書授与式が行えることを大変うれしく思います。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませす。6年前の入学式、今日着ているようなスーツやブレザー、ワンピースなどで参加し、ネクタイが緩んでしまったり、リボンがほどこけてしまったりしていたと思いますが、今日の皆さんの服装は、ビシツとしていてカッコ良く、6年間の成長を感じます。

コロナ禍の中で、学校生活を送ってきた高学年の2年間、林間学校や運動会、陸上大会、音楽会などが中止になったり、縮小されたり、とても残念な思いをさせてしまいました。

しかし、皆さんは、新しい生活様式の合い言葉「スマイルチュウブ」を守りながら、できることを見つけ、学校生活を楽しくしようと努力していました。

委員会やクラブ活動、部活動、一年生との交流、ピアタイムのクイズ大会、運動会でのお手伝いなど、皆さんは感染対策を行いながら、仲間と協力して、その一つ一つに全力を

注いでいました。どの活動においても6年生の実力を感じました。

特に、運動会でのフラッグを使った表現運動では、他の学年との合同練習で、下級生たちに6年生の一体感、たくましさを見せ、当日は、6年間の集大成を保護者の皆様にも披露することができ、その素晴らしさに感動しました。

これらの皆さんの活動は、中部小学校の伝統として、5年生に引き継がれていくものだと思います。

また、雪の中での日光修学旅行。戦場ヶ原のハイキングはできませんでしたが、時間や約束事を守り、一生の思い出になるような一泊二日だったことと思います。

皆さんの卒業にあたり、2つの言葉を贈ります。

一つ目は「実行する人になろう。」です。

多くの方が自分の夢や目標を持ちます。そして、その夢や目標を達成するために、皆さんはどうすればいいでしょうか。それは、実際に行動を起こすということです。考えるだけでは、何も成し遂げることはできません。どんな小さなことでもいいから、実行する人だけが夢や目標に近づき、達成することができることでしょう。

二つ目は「出会いを大切にしよう。」です。人は、必ず人とつながっています。小学校6年間では、先生や友だちとの出会いを積み重ねて学校生活を送ってきました。4月からの中学校でも、たくさんの出会いがあるでしょう。友だちや先生、部活動の仲間など、より多くの出会いが待っています。小学校から中学校にあがり、不安なこともあると思います。しかし、それを上回るだけの多くの出会いがあると私は信じています。楽しみにしててください。

保護者の皆様、お子様が今日、立派に小学校を卒業されますことを職員を代表しまして心よりお祝い申し上げます。小学校卒業という節目を迎えられ、これまでのご苦労も大きな慶びに変わっていることと存じます。この6年間、本校の教育活動に格別のご理解ご協力を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。これからもお子様が健やかにたくましく成長されますようお祈り申し上げます。

最後に、卒業生の皆さん、この中部小学校で学んだ多くのことを土台にし、「実行」と「出合い」という根をしつかりと生やし、将来大きな花を咲かせてください。

まずは、中学校での活躍と健闘を心から祈念し、式辞といたします。

令和四年三月十八日

鎌ヶ谷市立中部小学校長

小林

武明